

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：香川県立香川西部養護学校
- 2 実施日時：2019年9月18日（水）9：00-11：30
- 3 対象：観音寺市立豊浜中学校 生徒24名（3年生）
香川県立西部養護学校 生徒23名（中学部全学年）
- 4 派遣講師：なし
- 5 授業内容：ボッチャを通して交流活動

2019年9月18日（水）に、香川県立香川西部養護学校にて、観音寺市立豊浜中学校の生徒とのボッチャを通じた交流活動が行われました。

約30年ほど前から始まった香川西部養護学校と豊浜中学校の交流活動ですが、本事業への参画を契機にボッチャを取り入れ始めました。交流活動に向けて、事前に香川西部養護学校の先生が豊浜中学校で障がいやパラスポーツに関する講義を行いました。また、香川西部養護学校では、教職員向けにパラスポーツの体験会を実施したり、体育の授業にパラスポーツを取り入れたりしていました。

体育館で行われた交流活動では、まず「はじめの会」が行われました。香川西部養護学校と豊浜中学校の生徒がペアになって並んでいました。時折、小さい声で会話する様子も見られ、積極的に交流する姿勢が見られました。また、各校の校長及び代表生徒からの挨拶の後に「心から心へ」という歌を合唱し、ボッチャ交流に向けて心をつなぐ準備が行われました。

5分の休憩の後、ボッチャ大会が行われました。まず、先生からボッチャのゲームの進め方や勝敗の決め方等についての説明がありました。このときも、香川西部養護学校の生徒が質問し、それに豊浜中学校の生徒が答えるという様子が見られました。ボッチャ大会は、ペアで順番にボールを投げる形式で進められ、対戦は香川西部養護学校の学年対抗という形式で行われました。どこを狙ってボールを投げるのか、どれくらいの強さで投げるのか等の相談をしながら取り組んでいる様子が見られました。ジャックボールの近くに自分の投げたボールを止めたり、ジャックボールの近くにある相手のボールをうまく弾き飛ばすことができた際には、投げた生徒がガッツポーズをするだけでなく、見ている生徒が拍手をする姿や先生方が歓声をあげる様子も見られました。また、豊浜中学校の生徒が投げたボールが狙ったところになかった際に、香川西部養護学校の生徒が背中を軽くたたいてなぐさめている様子も見られました。また、休憩の際にも、ペアで積極的に交流する様子も見られ、終始和やかな雰囲気の中で交流活動は進行しました。全てのゲームの終了後には、「おわりの会」が行われました。香川西部養護学校の生徒からは、一緒にボッチャを楽しむことができたことへの感謝の言葉が述べられました。豊浜中学校の生徒からは、感謝の言葉とともに、交流活動でボッチャを体験したことでパラリンピックへの興味関心が高まったという感想が述べられました。

最後に、校舎の入り口で豊浜中学校の生徒のバスを見送り、交流活動は終了となりました。

6 授業の様子



【 会場の掲示 】



【 開会の挨拶 】



【 ルール説明 】



【 ペアで相談しながら投げる様子① 】



【 ペアで相談しながら投げる様子② 】



【 ランプを使って投げる様子 】



【 閉会の挨拶 】



【 見送り 】